

文化振興基本計画施策体系表

施策の柱	基本的な施策	主な施策概要	事業の具体例	ページ
①市民の自主的な文化活動の推進	ア 市民の文化活動の充実	【1】文化に対する関心、理解を深めるための普及啓発	◆市の文化施設での文化に関する講座、講演会等の開催	P.1
		【2】市民の鑑賞機会の提供	◆文化団体との連携による鑑賞機会の提供 ◆市の文化施設での公演事業の実施 ◆市立図書館での展示事業の実施 ◆市立美術館での美術作品の展覧会の開催、文化に関する資料等の展示、展覧会等の開催 ◆谷崎潤一郎記念館、富田碎花旧居での文学資料に関する展示、展覧会等の開催	P.2 P.3
		【3】市民の文化活動や発表する機会の確保	◆芦屋市展の開催 ◆文化団体の創作、発表等の活動への助成等による支援 ◆伝統芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催による支援 ◆市の文化施設での創作、練習、発表等の活動の場の提供 ◆市の文化施設の利用環境の整備	P.3
		【4】文化活動に関する情報の提供	◆広報紙、ホームページ等様々な媒体による文化活動のための情報の提供	
	イ 高齢者、障がい者等の文化活動の充実	【5】高齢者、障がい者等の文化活動の充実	◆市の文化施設のバリアフリー化の推進 ◆市の文化施設での託児支援等の取組 ◆市の文化施設での高齢者、障がい者の観覧料等の軽減	P.4
	ウ 青少年の文化活動の充実	【6】青少年の鑑賞機会の提供	◆市の文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施 ◆市立図書館での絵本展示等の実施 ◆市立美術館での人形劇の実施	
		【7】青少年の文化活動の体験機会の提供	◆市立図書館での子どもや親子を対象とした読書に親しむための事業の実施 ◆市立美術館での文化を体験する機会の提供や体験型ワークショップの実施	
	エ 学校教育における文化活動の充実	【8】文化に関する体験学習等の充実	◆学校への芸術家等派遣事業の実施 ◆本物の舞台芸術体験事業の実施 ◆学校と文化施設、芸術家等や文化団体と連携した教育の推進 ◆子どもの文化活動を支援する人材(ボランティア)リストの作成	P.5
	オ 人材の育成に関する支援	【9】創造的活動の成果を発表する機会の確保	◆市民絵画展、芦屋市展、芦屋市造形教育展の開催	
	カ 文化団体の育成に関する支援	【10】文化団体の育成に関する支援、連携の推進	◆文化団体の活動に対する後援 ◆文化団体相互の連携の促進 ◆市の文化施設での社会教育関係団体等の使用料の軽減	P.6
②固有の文化資源を活用した地域づくりの推進	ア 地域の伝統的な文化の保存等	【11】伝統的な文化の普及啓発、鑑賞機会等の提供	◆歴史を学ぶ機会の提供 ◆伝統的な文化に触れる機会の提供 ◆市の文化施設での能・狂言などの伝統芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保 ◆市の文化施設での地域の歴史・文化などの講座、講演会や資料展示の充実	P.7
		【12】文化財保護の充実等	◆文化財の保存・整備と活用 ◆文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施 ◆市立美術館での文化財等に関する資料の収集、保管、展示及び研究 ◆広報紙、ホームページ等による文化財に関する情報の提供	P.8
	イ 国内及び国外との交流の促進	【13】国際交流の推進	◆海外の姉妹都市との交流事業	
		【14】多文化理解の推進	◆市立潮芦屋交流センターでの多文化理解や交流を促進するための事業の実施	
	ウ 地域の文化資源の活用	【15】文化資源を活用した地域の活性化	◆アートフリーマーケット等による芸術家等の育成支援 ◆市の文化施設の地域にぎわい創出等への活用 ◆広報紙、ホームページ等による行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信	P.9
	エ 良好な景観の形成	【16】良好な景観の形成	◆全市を景観法で定める「景観地区」の指定による魅力ある景観づくりの推進 ◆景観地区のうち、特徴のある景観を有する地域は「特別景観地区」の指定により、良好な景観の保全・育成の推進	
③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進	ア 市の文化施設の充実	【17】市の文化施設の機能の充実	◆文化施設の特性に応じた芸術家等の人材育成、教育プログラム、アウトリーチ活動等の実施 ◆文化施設における参加体験型(ワークショップ)事業の実施 ◆文化施設の特性に応じたプロデュース機能の充実及び活用の促進 ◆文化施設の機能の向上	P.10
		【18】運営方法の点検等	◆施設利用者を対象としたアンケート調査の実施 ◆施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証	
	イ 学校施設、公共施設の活用	【19】学校施設、公共施設の活用	◆学校施設、公共施設の文化活動の場としての活用	
	ウ 情報の収集等	【20】情報の収集等	◆広報紙、ホームページや電子メールを活用した文化情報の提供 ◆保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用	P.11
		【21】利便性の向上	◆施設利用予約システムの運用	
		【22】文化にかかわる資料、作品、情報等の保存	◆市の文化施設における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進	
	エ 文化活動に対する支援	【23】活動している個人や団体に対して、より重点的・効果的な支援の充実	◆芦屋市芸術文化活動助成事業の実施 ◆地域文化活動補助事業の実施	
	オ 文化活動に対する民間支援活動の促進	【24】文化活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進	◆寄附税制等に関する周知 ◆文化団体への寄附の促進 ◆企業メセナ等に関する情報の提供	P.12
カ 顕彰の実施	【25】顕彰の実施	◆市民文化賞による表彰の実施 ◆富田碎花賞顕彰事業の実施		

① 事業概要等[PLAN]												② 実施内容[DO]						③ 実施結果の確認[CHECK]						④ 次年度以降へのフィードバック[ACTION]											
NO	課名	課長名	①事業名	①-1 新規	①-2 継続	①-3事業の目的							①-4 対象者 (具体的 に)	③-1掲載された広報媒体			③-2実施に当たり協働した団体等			③-3 H25事業費 (決算額:千円)	④評価指標				⑤自己評価	⑥課 題	⑦今後のビジョン								
						鑑賞 機会 の提 供	発 表の 場 の提 供	学 習 機 会 の提 供	人 材 育 成	趣 味・ 余 暇の 充 実	コ ミ ュ ニ テ ィ の 形 成	市 民 活 動 の 活 性 化		伝 統 芸 能 等 に 触 れ 合 う 機 会	歴 史 に 触 れ 合 う 機 会	外 国 文 化 と の 交 流	其 他 ※具体的に ご記入下さい	市 広 報 紙	ま ち な び (文 字 デ ー タ 放 送)		あ し や ト ラ イ あ ん く る (広 報 番 組)	其 他 (取 り 上 げ ら れ た メ デ ィ ア 及 び 媒 体 の 名 称)	市 (課 名)	其 他 の 団 体 (団 体 名)				指 標 名	H24年度	H25年度	今 後 の 目 標	指 標 名	H24年度	H25年度	今 後 の 目 標
						指 標 名	H24年度	H25年度	今 後 の 目 標	指 標 名	H24年度	H25年度		今 後 の 目 標	S:計画以上 A:達成 B:概ね達成 C:できなかった																				

【主な施策概要】②市民の鑑賞機会の提供

- 【事業の具体例】
- ◆文化団体との連携による鑑賞機会の提供
 - ◆市の文化施設での公演事業の実施
 - ◆市立図書館での展示事業の実施
 - ◆市立美術館での美術作品の展示会の開催、文化に関する資料等の展示、展示会等の開催
 - ◆谷崎潤一郎記念館、富田碎花旧居での文学資料館に関する展示、展示会等の開催

10	学校教育課	北野 章	自由研究・教育活動展	○	○										市民	幼小中学校の特色ある教育活動や子どもの作品を展示して学校間の交流を図るとともに、学校教育に対する市民の理解と関心を高める。	○				293	来場人数	約1,600人	約1,500人	増加	学校園の参加率	100%	100%	現状維持	A	来場者をさらに増やすため、市民への更なる啓発が必要である。	学校園の教育活動の成果を広く市民に発信していく貴重な機会であり、今後もさらなる内容の充実と努めていく。					
11	学校教育課	北野 章	中学校総合文化祭	○	○										市民	音楽演奏や作品展示を通じて、中学校間の文化交流を図る。	○				385	来場人数	約1,100人	約1,100人	増加	中学校の参加率	100%	100%	現状維持	A	展示部門では、教育活動展の展示と重なる作品もあり、独自の展示物の充実を図る必要がある。	中学生が、これまでの活動成果を発表する貴重な機会であり、今後もさらなる内容の充実と努める。					
12	学校教育課	北野 章	芦屋市造形教育展	○	○										市民	幼小中の各学校園の特色ある絵画や工芸作品を展示することにより、造形教育の充実を図るとともに、その成果を発信する。	○				400	来場人数	約4,700人	約4,700人	増加	学校園の参加率	100%	100%	現状維持	A	来場者をさらに増やすため、市民への更なる啓発が必要である。	学校園の日頃の造形活動の成果を広く市民に発信していく貴重な機会であり、今後もさらなる内容の充実と努める。					
13	生涯学習課	長岡 一美	富田碎花顕彰【再掲】	○	○										市民、詩を 観しむ人	【富田碎花賞の贈呈】 「詩人 富田碎花」の業績を顕彰するため、富田碎花顕彰会との共催により、公募した詩集の中から、優れた詩集に対し富田碎花賞を贈呈。 【旧居での展示】 富田碎花が長年居住し、谷崎潤一郎も住んだことのある旧居での、碎花ゆかりの資料等の展示公開 【富田碎花顕彰会講座】 富田碎花顕彰会による講座の実施 5月：風目散趣(富田碎花遺稿詩集)をテーマとした講座を開催 9月・11月「兵庫讃歌」をテーマとした講座を開催	○	○								595	応募詩集数	93	90	現状維持	応募都道府県数	57%	62%	現状維持	B	中長期で見た場合応募詩集の数が、減少傾向が続いているので増加、又は、現状維持をする。	富田碎花賞実施の広報先を増やすことで、応募詩集数を増加させる。
14	公民館	高田 浩志	常設展示事業・公民館ギャラリー	○	○	○	○	○	○	○	○				市民、市民 センター利用 者	常設展示 5回 公民館ギャラリー 20グループ	○		新聞(地方版)	生涯学習課	483	常設展示の内容と回数	6回	5回	現状維持				A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。						
15	公民館	高田 浩志	公民館音楽会	○	○	○	○	○	○	○	○				市民、市民 センター利用 者	公民館音楽会 5回、580人	○				500	音楽会の内容と回数	6回	5回	現状維持				A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。						
16	図書館	丸尾 恵子	大人が楽しむおはなしの会	○	○										市民	大人を対象に昔話や創作物語などを語るおはなしの会の実施した。 平成25年度実施回数1回	○		図書館HP	ムギの会グループめるへん	3	参加人数	48人	52人	現状維持	参加人数	48人	52人	現状維持	A	ボランティアの育成	昔話・児童文学の楽しさを幅広く知ってもらえるよう引き続き開催していく。					
17	図書館	丸尾 恵子	ライブラリーコンサート	○	○										市民	音楽家を招き、図書館内でコンサートを実施した。 平成25年度実施回数3回	○		図書館HP	芦屋市立図書館【友の会】		参加人数	620人	770人	現状維持	参加人数	620人	770人	現状維持	A		今後ともボランティア等の協力を得ながら、市民が教養を深めていけるようなイベントを実施していく。					
18	図書館	丸尾 恵子	ギャラリー展示	○	○										市民	図書館のエントランスに絵画や書などの芸術作品を展示。 平成25年度実施回数4回	○		図書館HP	芦屋市立図書館【友の会】		展示回数	4回	4回	現状維持	展示回数	4回	4回	現状維持	A		今後ともボランティア等の協力を得ながら、市民が教養を深めていけるような場を提供していく。					
19	図書館	丸尾 恵子	金曜シネサロン	○	○										市民	第1・第3金曜日に名画の上映を行った。 平成25年度実施回数21回	○		図書館HP			参加人数	1,603人	1,414人	現状維持	参加人数	1,603人	1,414人	現状維持	B		今後とも市民が教養を深める場を提供していく。					
20	美術館	長岡 一美	展示事業【美術部門】	○	○	○									市民	【展示事業】 ・コレクション版画展 ・アートビジュアルvol.3 マイホームユアホーム展 ・第31回 芦屋市造形教育展 ・ガンビ New era for creations 現代美術懇話会の軌跡 1952-1957 展 他1事業	○	○	○	新聞雑誌 フリーペーパー テレビ	近隣の県・市町村 教育委員会 30～50ヶ所	32,367 【美術館開 運経費一括計 上】	観覧者数	17,470人	17,968人	増加	観覧者満足度		84.9%	増加	A	事業展開に係る経費は一部、入館料収入が充てられる為、収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。	公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリー・トーク等)の充実を図っていききたい。				

NO	課名	課長名	①事業名	①-1 新規	①-2 継続	鑑賞 場の 提供	学習 場の 提供	人 材 育 成	趣味・ 余暇の 充実	市民 活動の 活性化	伝 達 手 段 等 に 対 し て の 機 会	歴 史 に 対 し て の 機 会	外 国 文 化 と の 交 流	その他 <small>※具体的に ご記入下さい</small>	①-4 対象者 (具体的 に)	③H25年度 事業実施内容	③-1掲載された広報媒体	③-2実施に当たり協働した団体等	③-3 H25事業費 (決算額:千円)	④評価指標				⑤自己評価	⑥課 題	⑦今後のビジョン				
																				④-1アウトプット(実施結果)							④-2アウトカム(実施した成果)			
																				指標名	H24年度	H25年度	今後の目標				指標名	H24年度	H25年度	今後の目標
																				S:計画以上 A:達成 B:概ね達成 C:できなかった										

【基本的な施策】イ 高齢者、障がい者等の文化活動の充実

【主な施策概要】(5) 高齢者、障がい者等の文化活動の充実																																	
【事業の具体例】																																	
◆市の文化施設のバリアフリー化の推進																																	
◆市の文化施設での託児支援等の取組																																	
◆市の文化施設での高齢者、障がい者の観覧料等の軽減																																	
32	障害福祉課	鳥越 雅也	障がい児・者作品展		○	○	○									保健福祉センターにおいて障がい者児が作成した作品を1週間展示	市民	平成25年11月8日～11月14日まで福祉センターにおいて第6回障がい児・者作品展を実施	○			社会福祉協議会	出展者数	101人	108人	増加	出展者数/障がい者手帳所持者数	2.60%	2.70%	増加	B	出展者のほとんどが団体を通じての出展となり、一般参加が少ない。引き続き、広報で市民に周知することにより出展者数を増加させたい。	
33	高齢福祉課	木野 隆	高齢者証明書の発行		○	○			○							市内在住の65歳以上の方	市内在住の65歳以上の方	市の文化施設での観覧料の軽減	○			生涯学習課	発行人数	249人	233人	現状維持				A			
34	高齢福祉課	木野 隆	敬老の日及び老人の日の指定公共施設の無料観覧		○	○			○							市内在住の65歳以上の方	市内在住の65歳以上の方	敬老の日及び老人の日に市の文化施設での無料観覧	○			生涯学習課								B			
35	公民館	高田 浩志	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	60歳以上の市民	60歳以上の市民	芦屋川カレッジ 108人 カレッジ聴講生 93人 カレッジ大学院 101人	○			生涯学習課	芦屋川カレッジ学友会	7,000	事業内容及び参加人数	102人 111人 109人	108人 93人 101人	現状維持			A	今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。	
36	公民館	高田 浩志	阪神南青い鳥学級・くすの木学級の開催		○		○									尼崎市、西宮市、芦屋市在住の視覚障がいのある人と聴覚障がいのある人	尼崎市、西宮市、芦屋市在住の視覚障がいのある人と聴覚障がいのある人	3市による実行委員会方式により実施 青い鳥学級 西宮市が当番市 くすの木学級 芦屋市が当番市	○			視覚障がい者の団体 聴覚障がい者の団体	719						A	尼崎市と西宮市と協力しながら、今後も事業を実施する。			
37	図書館	丸尾 恵子	障がい者サービス		○		○									障がいのある人	障がいのある人	視覚・聴覚等に障がいのある方に向けて、点字図書・録音図書の貸出や対面朗読サービスを行った。	○			図書館HP	あし笛 芦屋点字友の会	利用件数	185件	275件	増加	利用件数	185件	275件	増加	A	障がい者サービスの周知 障がいのある方が気軽に図書館を利用できるよう、今後も要望に応えていく。
38	美術博物館	長岡 一美	その他【観覧料軽減措置等】		○	○			○	○						市民(特に高齢者等)	市民(特に高齢者等)	・高齢者、障がい者等の観覧料軽減 ・「老人の日」「敬老の日」の高齢者入館料免除 ・「関西文化の日」への参加 ・「市民無料の日」の設定	○				入館料無料設定日数	6日	5日	現状維持			B	高齢者には意欲を持ってなお学べる生涯学習の場となるよう、また障がい者には展示方法や車椅子の利用方法等に配慮した、人に優しい美術博物館を目指したい。			
39	谷崎潤一郎記念館	長岡 一美	その他【観覧料軽減措置等】		○	○			○	○						市民(特に高齢者等)	市民(特に高齢者等)	・高齢者、障がい者等の観覧料軽減 ・「老人の日」「敬老の日」の高齢者入館料免除 ・「関西文化の日」への参加	○				入館料無料設定日数	4日	4日	現状維持			B	生涯に亘る多様な学習活動の一環として、谷崎文学を分野別やレベル別の体系化した各種講座やセミナー等を開催していきたい。			

【基本的な施策】ウ 青少年の文化活動の充実

【主な施策概要】(6) 青少年の鑑賞機会の提供																																		
【事業の具体例】																																		
◆市の文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施																																		
◆市立図書館での絵本展示等の実施																																		
◆市立美術博物館での人形劇の実施																																		
40	図書館	丸尾 恵子	こどもおはなしの会		○											子どもたちに本の楽しさを伝える	小学生	小学生以上の子どもを対象に昔話や創作の物語を語るおはなしの会を実施した。 平成25年度実施回数45回	○			図書館HP	ムギの会 グループめるへん	参加人数	670人	685人	増加	参加人数	670人	685人	増加	B	子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていきたい。	
41	図書館	丸尾 恵子	打出分室こどもおはなしの会		○											子どもたちに本の楽しさを伝える	3歳以上の子どもと保護者	親子を対象としたおはなし・絵本の読み聞かせを行った。 平成25年度実施回数4回	○			図書館HP	グループめるへん	参加人数	143人	97人	増加	参加人数	143人	97人	増加	B	子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていきたい。	
42	図書館	丸尾 恵子	親子で楽しむおはなしの会		○											子どもたちに本の楽しさを伝える	3歳以上の子どもと保護者	親子を対象としたおはなしの会を実施した。 平成25年度実施回数4回	○			図書館HP	ムギの会 グループめるへん	参加人数	164人	119人	増加	参加人数	164人	119人	増加	B	子どもたちが本と出会い、読書の楽しさを知ってもらえるよう、今後も職員とおはなし・読み聞かせボランティアと協力して研鑽を積み、より充実した内容にしていきたい。	
43	図書館	丸尾 恵子	人形劇の会		○	○										幼児～小学校低学年	幼児～小学校低学年	夏休み期間中に幼児～小学生を対象とした人形劇の実施した。 平成25年度実施回数1回	○			図書館HP		15	参加人数	128人	99人	現状維持	参加人数	128人	99人	現状維持	B	参加者の低年齢化 子どもたちを対象としたリクリエーションの場として、今後も開催していきたい。

NO	課名	課長名	① 事業概要等[PLAN]										② 実施内容[DO]					③ 実施結果の確認[CHECK]								④ 次年度以降へのフィードバック[ACTION]						
			①事業名	①-1新規	①-2継続	鑑賞機会の提供	発表の場の提供	学習機会の提供	人材育成	趣味・余暇の充実	①-3事業の目的 市民活動の活性化	外国文化との交流	その他 ※具体的に記入下さい	①-4対象者(具体的)	③H25年度事業実施内容	③-1掲載された広報媒体				③-2実施に当たり協働した団体等		③-3 H25事業費(決算額:千円)				④評価指標				⑤自己評価	⑥課題	⑦今後のビジョン
																市広報紙		まちナビ(文字データ放送)	あしやトライあんぐる(広報番組)	その他(取り上げられたメディア及び媒体の名称)	市(課名)	他の団体(団体名)	指標名	H24年度	H25年度	今後の目標	指標名	H24年度	H25年度			

【施策の柱】③文化の振興と再生を図るための環境づくりの推進
【基本的な施策】ア 市の文化施設の充実

【主な施策概要】(17) 市の文化施設の機能の充実
 【事業の具体例】 ◆文化施設の特性に応じた芸術家等の人材の育成、教育プログラム、アウトリーチ活動等の実施
 ◆文化施設における参加体験型(ワークショップ)事業の実施
 ◆文化施設の特性に応じたプロデュース機能の充実及び活用の促進
 ◆文化施設の機能の向上

84	生涯学習課	長岡 一美	文化財体験学習【再掲】											小学生とその保護者	夏休みに小学生を対象として、公民館で勾玉作りの体験学習を実施した。				市広報チャンネル	公民館	文化財市民ボランティア		実施回数	2回	2回	現状維持	実施回数	100	100	現状維持	A	体験学習のいろいろなメニューを検討する必要がある。	今後とも、夏休みに小学生を対象とした歴史に係る体験学習を実施し、子どもたちに歴史や文化財の大切さを学んでもらう。
85	公民館	高田 浩志	講演・講座・学級・教室等の開催【再掲】											市民	講座 20講座、5,793人 日本語学級 47回、207人 講演会セミナー等 15回、3,296人 公民館子ども教室 20回、610人			新聞(地方版)	生涯学習課 芦屋病院 美術博物館 選挙管理委員会	NHK 芦屋川カレッジ学友会 芦屋市PTA協議会 芦屋ユネスコ協会 芦屋大学 国立民族学博物館 ヨドコウ遊覧館	7,011	事業内容及び参加人数	4,678人 210人 2,518人 401人	5,793人 207人 3,296人 610人	現状維持					A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。	
86	公民館	高田 浩志	公民館図書室の運営【再掲】											市民、市民センター利用者	図書貸出者数 13,149人			図書館				1,677	図書貸出者数	12,485人	13,149人	現状維持				A		図書館と連携しながら今後とも事業を実施する。	
87	公民館	高田 浩志	常設展示事業・公民館ギャラリー【再掲】											市民、市民センター利用者	常設展示 5回 公民館ギャラリー 20グループ			新聞(地方版)	生涯学習課			483	常設展示の内容と回数	6回	5回	現状維持				A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。	
88	公民館	高田 浩志	公民館音楽会【再掲】											市民、市民センター利用者	公民館音楽会 5回、580人							500	音楽会の内容及回数	6回	5回	現状維持				A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。	
89	公民館	高田 浩志	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院【再掲】											60歳以上の市民	芦屋川カレッジ 108人 カレッジ聴講生 93人 カレッジ大学院 101人				生涯学習課	芦屋川カレッジ学友会		7,000	事業内容及び参加人数	102人 111人 109人	108人 93人 101人	現状維持				A		今後とも芦屋の公民館としてふさわしい事業を実施する。	
90	公民館	高田 浩志	阪神南青い鳥学級・くすの木学級の開催【再掲】											尼崎市、西宮市、芦屋市在住の視覚障がいのある人と聴覚障がいのある人	3市による実行委員会方式により実施 青い鳥学級 西宮市が当番市 くすの木学級 芦屋市が当番市				視覚障がい者の団体 聴覚障がい者の団体		719							A		尼崎市と西宮市と協力しながら、今後とも事業を実施する。			
91	美術博物館	長岡 一美	教育普及活動【展覧会関連事業】【再掲】											市民	・学芸員によるギャラリートーク 他5事業 ・対談「版画の魅力ー松谷 武判」 ・トークイベント「浅田ホーム×ユアホーム＝アートホーム」 ・「学習雑誌にみる子どもの歴史」連 ・オープニング記念展示解説会 他6事業						32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	792人	679人	増加	事業本数	16事業	15事業	現状維持	A	事業展開に係る経費は一部、入館料収入が充てられる為、収益性の高い事業に重きが置かれる懸念がある。	公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリートーク等)の充実を図っていききたい。	
92	美術博物館	長岡 一美	教育普及活動【講演、講座等】【再掲】											市民	【講演会】 ・「浮世絵と青」 ・「青の文化史ー日本美術にみられる古代の青から浮世絵の青まで」 ・「現代美術懇話会(ゲンビ)ー“抽象”と“総合”が目指したもの」 他2事業 【講座】 ・古文書講座(『棋譜名所図録』を読む) ・古文書講座(浮世絵から読み解く江戸時代の社会)						32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	246人	245人	現状維持	事業本数	12事業	7事業	増加	B	展示事業の大半が一般社団法人を対象とした企画となっている。	公立文化施設としての役割を果たしつつ、入館者数の増大に繋がる斬新で創造的な事業展開及びその関連事業(講座・講演、ギャラリートーク等)の充実を図っていききたい。	
93	美術博物館	長岡 一美	教育普及活動【ワークショップ等】【再掲】											児童・生徒	・絵本作家と作る「世界でたったひとつの絵本」 ・作ってわかる縄文・弥生 ・ワークショップ「かたちを教えあって、顔を描こう。」 ・クリスマスオーナメントづくり 他8事業						32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	624人	963人	増加	事業本数	12事業	12事業	増加	A		子どもを対象にした子どもに分かり易い展示内容や解説の仕方を工夫することによって、気軽にアートに親しみきっかけとなることを目指す。	
94	美術博物館	長岡 一美	教育普及活動【その他事業】【再掲】											市民	・春・秋の芦屋アートバザール(自主事業) ・美術寄席 ・朗読と音楽で綴る宮沢 賢治の世界 ・東日本大震災追悼コンサート 他5事業			新聞				32,367 【美術博物館関連経費一括計上】	参加者数	4,707人	5,895人	増加	事業本数	6事業	10事業	現状維持	A		視覚のみならず、聴覚にも心地良い文化施設として、ミュージアムコンサート等を充実させていきたい。 子どもに限定した創作活動から生まれる触れ合いを体験できる事業の展開(アートバザール子ども版)

